

第二十七回帝國議會
衆議院

水道條例中改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

會議

明治四十四年三月一日午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

粕谷 義三君

漆 昌巖君

上柳喜右衛門君

守屋 此助君

木村 義賢君

齋藤 巳三郎君

出席政府委員左ノ如シ

内務次官法學博士 一木喜徳郎君

内務省衛生局長 小橋 一太君

内務技師工學博士 近藤虎五郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

水道條例中改正法律案

○委員長(粕谷義三君) ソレデハ前回ニ引續イテ開會致シマス

○上柳喜右衛門君 チョット本案ヲ議スルニ當リマシテ、政府委員ニ質問ヲ致シマス

ガ、本案ニ對シテ四分ノ一ト云フ補助ヲ與ヘルカ否ヤト云フコトヲ確カメテ置キタイノデス

○政府委員(小橋一太君) 從來水道ノ補助ハ御承知ノ通り公共團體ノ經營ノ中

ニ付キマシテモ、大都市ノ經營シタルモノノ外ニハ未ダ補助ハ出シテ居リマセヌガ、大都市

ガ經營スルモノニデモ財政上力カ及バヌト云フヤウナ狀態デアリマスノデ、從來ハ市町村

ガヤツモ補助ヲシナイコトニナツテ居リマスカラ、私立ノ會社ニ今日ノ場合補助ヲ出スコ

トハ出來マイト考ヘテ居リマス

○齋藤巳三郎君 是ハ質問シナクテモ當局者ハ補助ヲ與ヘル精神デアルカト考ヘテ居

リマシタ、ソレハ何故カト申シマス、大キナ市ノ方ハ補助ヲ與ヘルケレドモ、小サナ町村

ニハ補助ヲ與ヘナイト云フコトデアリマスガ、是マデハ町村ニ與ヘナイデモ宜カラウガ、是ハ

營利ノ目的デモ何デモナイノデ、今度ノ御示シニナツタ此案ニ依リマスト、營利ノ目的デ

モ何デモナイカラ寧ロ公益ノためニヤルノデアルカラ、斯ウ云フモノニ向ッテハ補助ヲ與

ヘテ此事業ヲ容易ナラシムル方ガ當ラ得タモノデハナカラウカト思フ、大キナ市ニ向ッテサハ

補助サレノデアルカラ、此ノ如キ有益ナル特別ノ場所ニ於テヤルコトニ付テハ、無論相

當ナル補助ヲ與ヘルガ宜カラウト思フ、然ルニ今ノ御説明ニ依ルト、大ナル市ニハ補助ヲ

與ヘルガ、此ノ如キ有益ナル特別ノ場合ニ一私人ガ公人ニ代ッテヤル場合ニ於テ、之ヲ

補助シナイト云フト云フコトハ、チョット矛盾シテ居リハセヌカト思ヒマスガ

○政府委員(小橋一太君) 大都市ノ方ニ付テハ衛生上カラ申シテモ多クノ人が住ッ

テ居リマスシ、殊ニ傳染病ノ原因ヲ爲スノハ多クノ場合大都市デアリマシテ、大都市ノ

設備ヲ改良シテ衛生上ノ目的ヲ達スルコト云フコトハ最モ急務デアリマシテ、第一衛生

上カラ大都市ニハ水道敷設ガ急務デアル、殊ニ大都市ノ經營ニ屬スル水道ノハ随分經

費ガ多イノデ、其敷設費ノ大ナルト一面ニハ衛生上最モ急務デアルト云フ點ヨリ、之ニ對

シテハ國庫カラ補助シテ其普及ヲ圖ル、此改正案ノ方ニ對シテハ提出者ノ御趣意ニ於

テモ土地ノ開發ニアル、土地ノ不毛ノためニ人口ノ稀少ナル地ノ發達ヲ圖ルためニ設ケ

タイト云フノ趣意アル、此點カラ考ヘマスレバ強ヒテ補助ノ必要モナカラウ、又衛生上カ
ラモサウ急務トハ考ヘラレナイ、一方最モ急トスル大都市デサヘモ未ダ力ガ及バヌ有様デア
ルシ、又土地開發ノ目的カラデアレバ、補助ノ必要モナカラウト云フ積デアリマス

○守屋此助君 若シ町村ガ町村會ノ決議ヲ以テ之ヲ補助スルト云フ場合ニハ、内務

省ハソレヲ干涉シテサセナイヤウナコトナクシテ、是ハ自治團體ガスルコトニハ何等ノ御異

存ハアリマセヌカ

○政府委員(小橋一太君) 唯今ノ御尋ネノヤウナ場合ニハ寄附補助ハ市町村ノ公

益上必要ト認メテ自治體ガ補助スル場合ニハ、一般ニ其寄附補助ヲヤラセナイト云フ

コトハ決シテ致シマセヌ、ソレハ市町村ノ公益上必要ト認メ、サウシテ是ニ付テハ監督官

廳ノ許可ヲ受ケマスカラ、町村ガ自己ノ必要ヲ認メテ將來ニ於テ自己ガ此水道ヲ引受

ケルカラ其ためニ町村ノ開發上補助ヲスルト云フコトデアッテ、其目的ガ公益ニ適フノデア

レバ、無論差支ナイト思ヒマス

○齋藤巳三郎君 是マデ水道ヲ敷設シタ市町村ニ於キマシテ敷設以前ト敷設以後ニ

於テハ衛生費ノ方モ幾ラカ後ノ方ガ減ッテ居ルグラウト思ヒマスガ、ドンナ割合ニナツテ居

リマスガ、第二ハ其市町村ノ水道敷設前ヨリハ敷設後ノ方ガ死亡率ナドモ減ッテ居ルト

思ヒマスガ、其調ベタモノハアリマセヌカ、年々衛生費ノ補助トシテ國庫デ出ス高ハ随分

莫大デアルヤウニ思ヒマスガ、若シ水道ノ敷設ニ依ッテ年々補助サレタコロノ金額ガ段々

減ッテ來ルト云フヤウナコトデアリ、從ッテ衛生ノ設備等モ完全デ死亡數モ減ルト云フヤ

ウナ著シイ利益ガアレバ、一面ニ於テ國家ハ相當ノ補助ヲ與ヘテモ成ベク速ニ水道ヲ普

及セシムルガ大體ニ於テ利益デアラウト思フカラ、其點ヲ伺ッテ置キマス

○政府委員(小橋一太君) 今ノ御尋ネノ第二ノ點カラ先ヘ申シマスガ第二ノ點ハ

其統計ヲ持ッテ居リマセヌガ、水道敷設前ト敷設後ニ於テ其疾病死亡數ノ率等ガ減ッ

テ居ルト云フコトハ、確ニ敷設後ニ於テ減ッテ居リマス、先達差上ケマシタ水道調査ノ詳

細ノ統計ニ其コトハ現ハレテ居リマス、是ハ古イ水道ヲ敷設シタ統計ニ依リマスルト、餘

程違ッテ居リマス、横濱ノ如キ、又ハ大阪ノ如キ、其調ベタモノガ御手許ニ差上ゲタノ、

中ニアリマス、横濱邊ハ敷設前ニ於テハ全國ノ死亡率ヨリモ横濱ノ死亡率ノ方ガ高カッ

タデス、横濱市ダケノ死亡率ハ 所ガ敷設後ニハ全國ノ死亡率ヨリモ横濱ガ減ッ

テ來テ居リマス、ソレカラ大阪ノ如キハ室扶斯ガ入ッテ居リマスケレドモ、併シ水道敷設

後ニ於テハ特ニ著シク減ッテ居リマス、又大阪ト京都ト比較シテ見マスルト、市ノ狀況カ

ラ申スト、ドウモ大阪ノ方ガ室扶斯或ハ虎列拉赤痢ト云フヤウナ流行病ガ入ッテ

居ラナケレバナラヌ譯デアリマスガ、ソレガヤハリ京都ノ方ガ惡イノデス、ソレハ大阪ニ水道

ノアルためニ京都ヨリモ宜イ、斯ウ云フ表ガ見エテ居リマス、ソレカラ九州ニ於キマシテ長

崎ト熊本ト比較シテ見マス、所ガ長崎ハ御承知ノヤウナ、ア、云フ場所柄デアルカラ

傳染病ナドノ入り易イ、流行シ易イ、所デアルガ、長崎ノ虎列拉、室扶斯、赤痢等ノ死亡

ハ此處此間御覽ニ入レマシタ調書ノ中ニ書イテゴザイマス明カニ成績ガ上リテ居ルト思ヒマス、此豫防費及衛生費ノ補助關係ニ付キマシテハ、詳細サウ云フ風ノ水道敷設前ト敷設後トノ比較ヲ取ツタモノハゴザイマセヌデアリマスガ、ソレハ其府縣ノ方ヘ命ジテ調ベレバ調ベガ出來マセウガ、御承知ノ通り國庫ノ補助ハ府縣ノ支出ニ對シテ六分ノ一ノ補助ヲシテ、府縣支出ノ費用ハ府縣知事ガ市町村ニ對シテ傳染病豫防費トシテ補助シタルモノガ、府縣費ニ包含シテ居ッテ、其町村ノ戸數ニ對シテ補助シマスガ、其府縣ノ補助ノ歩合ガドウナッテ居ルカト云フコトハ調ベレバ分リマスガ、チヨット今ソレハ調ベハ出來テ居リマセヌデアリマス、ケレドモ是ハ大阪アタリハ「ベスト」ナドガ流行リマシタリ、種々ナ病氣ガ入ッテ居リマスガ、横濱神戸等ノ豫防設備ノ十分ナルトコロハ減ッテ居リマセウト思ヒマス、唯赤痢トカ虎列拉トカ云フモノ、ミ付テ調ベテ見マスレバ、幾分カ減ッテ居リマセウガ、種々ナル衛生上ノ設備、傳染病ニ關スル豫防設備ガ金ガ掛ルヤウニナッテ來マスカラ割合ニ統計上デハサウ減ジテハ居リマセヌガ、但シ効能ノアルコトハ確デアリマス

〔此間速記ヲ中止ス〕

○漆昌巖君 近頃低廉ニ水管デ出來ルト云フコトデ、田中式トカ云フモノモ出來テ居ルト云フコトデアリマスガ、政府ハ今デハ水管デ御許シナッテ居ル所ハアルカリマセヌカ、勿論用ヲ辨ジナイヤウナモノデハ仕方ガナイガ、會社ガ相當ノ作業ヲシテ水管ニシテ差支ナイト云フコトニナレバ政府ハ成ルベク採用シテ將來使ハセルト云フ御考ガアリマセウカ、事業ヲスルモノハ經濟カラ勘定シテ掛ラネバナラヌカラ承ッテ置キタイ

○政府委員(小橋一太君) 第一ノ水管ヲ以テ水道ヲ造ルコトヲ許シタモノガアルヤ否ヤハ今日ノ水道條例ニ據ッテ許シタノハゴザイマセヌ、陶管、鐵管混用ノモノハゴザイマス、將來ノコトハ先年關西地方ノ市長ガ會議シタ時分ニモ水道ノ普及ヲ圖ル一方法トシテ水管ガ廉クモアリ、長ク保存ニ堪ヘルト云フ亞米利加邊ノ話モアルニ付テ十分調査ヲシテ貫ヒタイト云フ、公ト申スマデハナイガ、書面ガ衛生局長ヘ參ッテ居リマシテ、是ハ十分研究シテ置ク必要ガアラウト云フ考ヲ以テ一應調査ヲシテ、先刻申上ゲタヤウナ次第デアリマス、一昨年土木カラ歐羅巴、亞米利加ヘ出張シテ、水道下水等ヲ調ベテ水管ニ關スルコトモ調査シテ參ッテ居リマスガ、費用ヤ工事ノ關係等ニ付テ、マダ調査ガ行居イテ居ルトハ申サレマセヌガ、大體ニ於テ隨分費用ガ掛ル、ソレカラ水管ノ繼目其他工事上ニ困難ガアルト云フコトハ分ッテ居リマスガ、併ナカラ若モ田中式ノ水管ノ如ク、非常ニ廉クテ、衛生上カラ申シテモ害ナク、供給モ十分デアルコトガ確カデアッタラバ、是ハ將來ニ於テ水道ニ用ユルコトヲ認メテ少シモ差支ナカラウト信ズルデアリマス、唯是ニ對スル調査ハ餘程困難デアラウト考ヘマスガ、免ニ角十分調査サセテ見タイ考デゴザイマス

○委員長(粕谷義三君) 今マデ水管使用ヲ出願シタ箇所ガアリマスカ

○政府委員(小橋一太君) ナイト記憶シマス

○齋藤巳三郎君 水道ニ水管ヲ使用シテハ如何ト云フコトハ、唯今ノ事柄デナク餘程前カラ問題ニナッテ居テ、私が四五年前内務當局者ヲ訪フタ時分ニモ其話ヲシタコトガアル、亞米利加ヘ往ッテ調ベタ人ハ水管ニシタ方ガ總テノ點ニ於テ利益アル、經費モ

半分デ出來ルト云フコトデアアルツレ故ニ寧ロ鐵管ノコトヲ固執シナイデ、水管代用ヲ認メマシテドウカト云フコトヲ御話シタコトガアル、其當時ハ能ク分ラヌカラ取調ベルト云フコトデアッタガ、今モヤハリ同ジ御話デアアルノヲ見ルト、ドウモ當座ノ責ヲ塞グタメノ御答デナイカト疑ハレルノデスガ、サウデナシニ其當時私ハ調ベタコトモアリ、亞米利加カラ持ッテ來タ水管モ見タシ、東京デモ麻布アタリニ製造所ガアルト云フ——或ハ市デ百萬圓ノ水道債ヲ起シテヤラウト云フ時分ニハ是ハドウモ市ノ力ニ不相應ダト云フノデイロ——シマシタケレドモ水管ニ變ヘテ吳レト云フコトデアリマス、ソレハマダ内務省ノ方ニ於テモ極リヌカラト云フコトデアリマシタガ、實際當局者デ御調ベニナッテ居ルノデアリマスガ、漆君ノ質問ニ對シテ極ッテ御答ガアルカト思ッテ居リマシタガ、四五年前ノ御答ト同ジデアル、是ハ何トカ御考ガ極リサウナモノト思フ

○政府委員(小橋一太君) 是ハ決シテ政府ニ於テモ等閑ニ附シテ居リマセヌ、餘リ廉クテ宜イモノナラバ衛生上カラ普及ヲ圖ル點カラ申シテモ、差支ナイモノデアレバ、使フコトヲ希望シテ居リマス、現ニ内務省カラ上下水道ノ調査ノタメニ出張サセタ土木ノ技師モ亞米利加ノ水管ノ水道ヲ見テ來テ居ル次第デアルガ、之ニ對シテハ從來ノ取調デハ金ト引合ハヌ、斯ウ云フ調ヲ得テ居ル、供給ハ十分出來ルヤ否ヤ、ソレニ對シテモ疑フ持ッテ居リマスモウ一ツハ、先刻申シマシタヤウニ工事上ノ問題ニ於キマシテ、繼目其他ガ困難デアル、水壓等ノ點ニ於テモ疑問デアリマス、日本ニ實驗シタコトノナイヤウナ次第デアリマス、試驗調査ト云フモノモ困難アルケレドモ、衛生上ノコトカラ致シマシテ御話ノヤウナコトデアレバ、是ハ進シテ廣ク用ヒタ方ガ宜カラウト考ヘマス、十分調査ハサセル積リデアリマス、現ニ唯今モ調査ヲシテ居リマス、將來ト雖モ怠ラヌデアリマス

○齋藤巳三郎君 ソレハ亞米利加デハ澤山アルト云フコトヲ聞イテ居ル、此事ハ衛生上疾クニ分ッテ居ルコト、思フ、然ルニ是カラ調査シテ見ルト云フ答ハ私ハ満足セヌデアリマス、水管ナラ半分デ出來ル、百萬圓ノモノガ五十萬圓デ出來ルト云フ話デアル、是ハ何ヲ措イテモ取急イデ十分ナル調査ヲシテ戴キタイ

○委員長(粕谷義三君) ソレハ委員會ノ希望トシテ調査ヲ要求シテ置キマセウ

○守屋此助君 成ルベク日本デ出來ル水管ヲ使ヒタイ、鐵ハ關稅デ益、高クナル、日本ノ鐵モ今マデノ鐵トハ違フ、七月カラ高クナリマスカラ宜シク願ヒマス

〔此間速記ヲ中止ス〕

○委員長(粕谷義三君) ソレハ御質問ガゴザイマセヌケレバ、本案ノ討論ニ移リマス

○齋藤巳三郎君 私ハ此別紙ノ通りニ修正致シタイノデアリマス——委員長ノ手許ニ差出シテアリマス通りニ修正致シタイ、ドウゾ皆サン御賛成ヲ願ヒマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

〔參照〕

水道條例中左ノ通改正ス

第二條ニ左ノ但書ヲ加フ
但土地開發ノ爲メ町村内水道ヲ布設スル必要アル場合ニ限り當該町村其實力ニ堪ヘサルトキハ元資償却ヲ目途トスル市町村以外ノ企業者ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ元資トハ布設費及其利子ヲ云フ但シ利子ハ年五分以内トス
第三條ニ左ノ一項ヲ加フ
市町村ニ非サル企業者ニ在リテハ前項各號ノ外企業ノ組織、資本ノ總額、元資
償却ノ方法及許可年限ヲ記載スヘシ

第四條中「認可狀」ヲ「又ハ許可書」ヲ加ヘ左ノ一項ヲ加フ
市町村ニ非サル企業者ノ出願ニ對シテハ内務大臣ハ必要ト認ムル事項ヲ許可書
ニ附シテ命令スルコトヲ得

第五條中「地方稅」ヲ「其他ノ公課」ニ改ム
第十七條 市町村ニ非サル企業者ノ布設シタル水道ニシテ許可年限満了シタルト
キ又ハ許可年限内ニ元資ノ償却ヲ了シタルトキハ其水道及水道經營ニ必要ナル
一切ノ土地物件ハ無償ニテ關係市町村有ニ歸ス

第十八條 市町村ニ非サル企業者ノ布設シタル水道ニシテ關係市町村ニ於テ必要
ト認ムルトキハ元資未償却金額又ハ水道布設費ヲ許可年限ニテ除シ之ニ殘餘ノ
年限ヲ乘シタル金額ヲ以テ之ヲ買收スルコトヲ得

附則

第八條乃至第十六條ニ於テ市町村及市町村長トアルハ市町村以外ノ企業ニ係ル
場合ニハ其ノ企業者ニ之ヲ準用ス
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○守屋此助君 私ハ唯今齋藤サンカラ御提出ニナツタ第二條ノ末項「但利子ハ年
五分以内トス」トアリマスル點ニ付テ、愚案ヲ申シテ見タイ、我輩ノ考デハ勸業銀行ノ
金ヲ今日借リテデモ七三厘、ソレカラ政府ハ非常ナ水害ナドニ際シテ政府ノ預金ヲ
出ストキハ五五厘ナボラ出シテ居ルノデアリマスガ、是ハ災害救助ノ場合デアリマス、消
極的ノ意味デアリマス、此水道ヲ拵ヘルト云フノハ積極的ノ仕事ラスル場合デアリマスガ
ラ、災害救助ノトキハ五五厘何厘ト云フ預金カラ出ルモノノ標ニナルベキ筋合ノモノデナイ
ト思ヒマス、ソレカラ今日ハ五五厘ノ公債證書ガ先ツ政府ノ借金ニナツテ居ル同ジ公債ノ
中デモ市債トナルト横濱ノ市債トカ、東京ノ市債トカハ年六六厘以上ノ市場相場場
保ッテ居ルツレデアリマスカラ町村ガ勸業銀行ノ借リテモ七三厘デゴザイマスカラ、強
テ利息ヲ定メントスレバ何ントシテモ私ハ七三厘ト云フコトニ定メベキ事柄ガ實地ニ活用ヲ
シヤウト云フトキハ相當デアラウト考ヘマス、所ガ皆千篇一律ニイカナイ、此法律ナドヲ多
ク用井ントスルノハ、土地開發ノタメニ必要デアッテ、町村ガ其資力ニ堪ヘスト云フ場合
ニハ何處ガ一番多イカト云ヘバ、北海道デアリマス、北海道ノ金利ハ内地ガ八厘ノトキ
ニハ五割位高イ私ハ十分ノ希望ヲ申シマス、法律ニ斯ウ云フ事柄千篇一律ニ北海
道デアラウガ、東京附近デアラウガ、大阪附近デアラウガ、何處モ同ジヤウナ事柄ニ作ル
コトハ、行政官ガ政治ヲスル上ノ妙用デナイカラ第四條ノ中ノ内務大臣ガ許可書ニ書
ク事項ノ中デ、斯ウ云フコトヲ御定メニナツテ例ヘバ、大阪東京附近ノ町村ガスルトキニ
ハ、七三厘モ宜シウゴザイマス、所ガ私ガ多ク此法律ヲ使ヒタイト云フノハ北海道ニ特ニヤッ
テ開發シタイト思ヒマスガ、左様な場合ハ八厘トカ、一割デモ宜イ金利ガ一般ノ高イ場所
デアリマスカラ——サウシテ土地ヲ開發スルト云フコトニナリマシタナラバ、國家ノタメニ利

益ニナルコトハ大ナルモノデアリマス、五三厘ト云フコトニ極メテ置キマスレバ、北海道ハ空
交ノ法律ニ止マルト云フコトヲ恐レマスカラ、私ノ考デハ第一トシテ但書ノ五分ヲ削ルコ
トニ致シタイ、之ヲ削ルコトニ政府ガ御不同意デアラナラバ、少クモ七分以内ト云フコト
ニシタイト云フコトノ意見デアリマス、是ダケノコトヲ申述ベテ置キマス

○漆昌巖君 政府ハ御同意下サルカドウデアリマスカ

○政府委員(小橋一太君) 唯今齋藤サンカラノ本案ニ對シテ修正ノ御説ガ出マシ
タガ、此修正ノ御意見ニ對シマシテハ、政府ハ同意ヲ致シマス、序ニ守屋サンノ今ノ御話
ニ對シテ御斷リヲシテ置クコトガゴザイマスガ、此政府ノ低利資金ノ供給法デゴザイマス、
水道或ハ下水等ノ積極的ノ事業ニ對シマシテ、市町村ガ經營シマス場合ニ其工費ガ二
萬圓以上デゴザイマスレバ、之ハ五分三厘出シテ居リマス、ソレカラ水害復舊ニ對シマシ
テハ、昨年ニ於テ國庫預金カラ四分五厘出シテ居リマス、チヨット御斷リヲシテ置キマス

○漆昌巖君 サウスルト但書ニハ政府ハ御同意ハナイト云フノデアリマスカ

○政府委員(小橋一太君) 齋藤サンノ修正ノ御意見ニ贊成致シマスルガ、守屋サン
ノ御意見ニ對シテハ贊成致シマス

○漆昌巖君 私ハ此提出者トシテ成立ヲ望ムモノデアリマスガ、併ナガラ又一方ニ法
案ノ成立ヲ望ムト同時ニ事業ノ成立ヲ望ムナケレバナラス、サウシマス今ノ此但書ハ守
屋君ノ成ベク御修正ノ如クシテ戴キタイト云フコトハ望ムデゴザイマスガ、政府ガ是ニ御
同意下サルヲ以上ハワレガタメニ之ガ貴族院ニ於テ不成立ニ終リマスノヲ遺憾ニ存ジマ
スカラ、齋藤君ノ前ノ修正ニ同意ヲ致シマス而シテ此場合ニチヨット一言申上ゲテ置キ
イノハ、貴族院(同リマシタ時分ニ貴族院ノ諸公ハ既ニ提出者ハ、十八條ノ中ニ市町
村ニアラザル法人組織ノ經營スル水道ニシテ市町村ガ買收シヤウト云フ場合ニハ、建
設費ニ、年四三厘ノ利ヲ附シサヘスレバ宜イ、今度ノ修正案モ或ハ過ギテ居ルデハナイカ
ト云フヤウナ或ハ説ガ出ヌトモ限リマセス、是ハ修正案ノ年四三厘ト云フコトヲ一言申シ
イノハ、此修正案ノ年四三厘ト云フノハ私共ガ修正案ヲ提出シタ理由ノ中ニハ今度ノ修
正デ申シマス云フト、元利ナシ崩シ法デアッテ、元利ナシ崩セバ無論町村有ニ歸スル、ソ
レカラ是ハ又イッレ此通ノニ實行スルストスレバ修正ノ第十七條ノ中ニ相當ノ年限ヲ定
メテ、其年限マデニ元資ヲ償却スレバ、町村有ニ歸スル、又年限内ト雖モ元資ガ償還
ヲ了シタトキニハ、何時デモ町村有ニ歸スル、サウ云フ場合デアルト私共ノ前ニ提出シマ
シタ改正案トハ餘程趣ヲ異ニシマスカラ、前ノハ何時デモ關係町村ガ資力ガ出來テ求メ
マスル場合ニハ、免ニ角建設費ニ對シテハ一文モ不足ナク出シテ、而シテ年四三厘ナラ
四三厘ノ利息ヲ加ヘル、ソレマデノ間ハ例ヘバ一割ノ配當ヲシテモ宜カラウ、一割ノ配當
ヲシテ宜カラウ、是モ一般カラ申セバ差支ナイ、併ナガラ元ト公設ガ原則デアラウ町村
ガ又買收シヤウト云フ場合ニ、起業者ハ買收ニ應ズルト云フ其場合ニハ年四三厘ト申シ
タノデアリマスカラ、敢テ今般年五分ニナツタカラ、年四三厘カラ見レバ餘程好イデヤナイカ
ト云フノハ違ヒマス、是ハ貴族院ニ同リマシタ時分ニサウ云フ御説ガアルカモ知レマセ
カラ、一言申上ゲテ置クノデアリマス、ドウゾ貴族院ニ同リマシタ時分ニハ、政府ハ力メ
テ御辯解下サルヤウニ希望致シテ置キマス

○守屋此助君 私一ツ希望ヲ申シテ置キマス、是マデノ例デハ許可書ヲスルトキニ内

務大臣が書イタモノ、中ニ、變更ヲスル場合ニハ絶對ニ内務大臣ノ手許ニ歸スルト云フコトデアリマス、許可書ノ中ニハ初メハ重キコトモ輕キコトモ一緒ニ書クカラ、内務大臣ノ許可書ニナッテ居ルガ、其中ノ輕キモノヲ意味スルトキニ世ノ中モ斯様ニ進歩シテ來タカラ少々「ハイカラ」式ヲ用井テ地方長官デ許シ得ラレルナラ、地方長官ニサセルト云フコトニシタイト云フノガ、大體私ノ諸般ノ政治ノ上ニ希望シテ居ルトコロデゴザイマスガ、殊ニ此水道條令ニ於キマシテ、例ヘバ今ノ水料ノ變更ノ如キモ、内務省マデ書類ヲ往復サシタリセズニ、是ハ地方々々ノ長官ニサウ云フ事柄ハ任スト云フコトニ、今後此水道條例ヲ使ハレルトキニハシテ欲シイト云フ唯希望ダケ申シテ置キマス

○委員長(粕谷義三君) ソレデハ外ニ御發言モゴザイマセヌケレバ、決ヲ採リマス、齋藤サンノ修正説ニ皆サシノ御同意ガアリマスカラ、其通り決シマス、是デ散會致シマス、誠ニ御苦勞様デゴザイマシタ

午後二時四十五分散會

衆議院水道條例中改正法律案委員會議錄第二回正誤

頁	行	誤	正
六	上	二十一	信任シナイノデアリマスカラ
			信任スルシナイノ問題デハアリマセヌ